筑波大生が芥川の視察にきました

12月2日、3日の二日間、筑波大学白川研究室の田川未来也さんが卒業研究で中小河川の川づくりの事例調査のため、全国的にも有名な川づくりの事例である芥川を選び高槻に来られました。今回の視察には以前からお世話になっている坂本貴啓さん（ドクター取得後4月より岐阜県各務原市にある土木研究所自然共生研究センターに勤務）が同行されました。

初日は芥川の魚みち、およびアユの卵探しと仔魚調査場所を案内し、現場で芥川倶楽部の活動を説明しました。次の日はあくあぴあで意見交換を行い、その後、摂津峡の視察をされました。今回の調査対象河川は九州、近畿、関東の3か所で、芥川は近畿の調査対象河川となりました。

田川さんからは以下のような感想を送っていただきました。

～私の論文では、自然と共生した川づくりの目的として、①河川の自然環境を利用することによって、②地域住民の関心が高まり、③河川空間利用の増加につながることを挙げました。その視点からみて、芥川は一部進行中ではあるが、そのモデル河川であると思います。

４月から社会人になりますが、いつかまた芥川を訪ねてみたいと思っています。～

～第13回 淀川・芥川クリーンアップ大作戦～

天然のアユが遡上する前に“大掃除”を実施します！清掃活動後は、おいしいまかないつき！
みなさんの参加をお待ちしています。

平成３０年 ３月２４日（土） 午前10時～正午

集合場所

下の地図の①～⑥の各地点
●６箇所のうちご都合のいい所へお越し下さい
●④の解散場所は津之江公園になります

※雨天中止の判断は、当日、午前７時に行います。
情報は『芥川倶楽部ブログ』http://akutariv.blog85.fc2.com/に掲載します

平成30年度前半事業のお知らせ

芥川を中心に様々な活動を行っていきます。
活動にぜひご参加ください。

4月 29日	こいのぼりフェスタ
5月～7月	アユの遡上調査
5月 26日	あくあぴあふれあいフェスタ
6月 2日	わんど観察会
7月 7日	ネットワーク総会
7月 29日	お父さんのための魚とり講座

～芥川でアユを見つけよう！ ボランティア大募集!!～

芥川にアユが棲んでいることを皆さん知っていますか？芥川大橋上流の堰に魚みちがあって、淀川から芥川の上流に向かって体長7cmくらいのかわいいアユが元気に上っています。昨年は約8,100匹ものアユが芥川を上っているんですよ。今年もどれだけのアユが上るのか、アユを数える調査に参加しませんか？お気軽に皆さんの参加をお待ちしています。

調査期間：５月１５日～７月１５日
　　９：００～１５：００
調査場所：芥川大橋上流の堰の魚みち
　　（高槻市芝生町2丁目地先）
調査方法：ボランティア調査員2名で魚みちを
　　通過する魚を目視でカウント
応募条件：ボランティア保険に加入
　　（費用：主催者負担）
問 合 せ：茨木土木事務所　地域支援・企画課
　　（TEL：072-627-1121）

芥川倶楽部では、川づくりや各種イベントに一緒に参加してくれる方を募集しています。
イベント等の情報は下記の芥川倶楽部ブログにて、紹介しておりますので、ぜひご覧ください。
ブログ :http://akutariv.blog85.fc2.com/　　HP :http://akutagawaclub.web.fc2.com/
e-mail : akutagawa0726@yahoo.co.jp

～～～「芥川」はみんなの川です 「芥川」をきれいにしましょう ゴミを捨てないようにしましょう ～～～

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

芥川水辺だより

Vol.30
2018年
春号

芥川・アユの育つ川づくり講座を開催！

2月17日

～淀川のアユ・そして芥川のアユ～

今年は、芥川倶楽部の活動の原点でもある「アユ」について、大阪湾から淀川、そして芥川への連続性をテーマに生物多様性講座を開催し、48名の方の参加がありました。

はじめに、京の川の恵みを活かす会代表、京都大学准教授の竹門康弘先生からは、「淀川のアユ～分かってきたこと・分からないこと～」というタイトルで講演をいただきました。大阪湾から淀川に遡上するルートは新淀川と大川の二つのルートがあり、淀川大堰のゲート操作で両ルートに流れる水量を調整することで、アユの遡上数に大きな影響を与えており、自然の営みであるアユの遡上に極めて人工的な操作がかかわっていることがわかりました。また今後の課題としては、魚が棲みやすい川づくりに加え、魚が降りやすい川づくりが必要で、さらに流下先の大阪湾沿岸の人たちにアユについて一緒に考えてもらえるような組織作りが必要だとのことでした。

芥川のアユについては、高槻市立自然博物館主任研究員の花﨑勝司さんより報告があり、2011年と2016年に調査したところ、春から夏にかけ順調に成長はするものの、体長はやや小さくやせ気味であるといったことがわかりました。

芥川倶楽部の山﨑文男さんからは、遡上調査と仔魚調査の報告がありました。調査の様子を写真や動画で紹介し、これまでのデータ蓄積から遡上のピークの傾向がわかっており、今後これを活かして調査を進めていきたいとのことでした。

編集・構成　芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川倶楽部～
事務局：NPO法人芥川倶楽部　ホームページ　http://akutagawaclub.web.fc2.com/　ブログhttp://akutariv.blog85.fc2.com/
平成30年（2018年）3月　発行：　高槻市　都市創造部　下水河川企画課　TEL　072(674)7432
●芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワークは河川協力団体（国（近畿地方整備局）第2号）に認定されています●

～～ミズヒマワリ駆除活動平成２９年度の取組み～～

城西橋から芥川大橋までを集中駆除区間に設定し、ミズヒマワリ駆除を実施しました。今年度は、津之江公園内にある池においても、この公園を活動フィールドにしている「津之江公園を活かす会」と共に池全体の駆除を行い、成果を出すことができました。

今年度の活動実績としては以下のとおりです。

〇ミズヒマワリ駆除

回数：８回、参加人員：４５名、駆除量：７５kg（津之江公園池を含む）

〇ミズヒマワリパトロール

回数：５回、参加人員１８名（トンボ池、清福寺休耕田、塚脇橋上流湿地含む）

城西橋上流域の芥川と芥川トンボ池、清福寺休耕田、上流湿地等全域で、パトロールを行った結果、ミズヒマワリは発見されませんでした。したがって、城西橋から上流域においては、ほぼ根絶できたと考えられます。

平成３０年度の取組みとして、芥川大橋から上流域においては9月に全域のパトロールを行い、発見の都度駆除を行う予定です。また、芥川大橋から下流域においては、河川管理者である国土交通省と情報を共有し合い、駆除の働きかけを行っていきます。

引き続き、芥川からミズヒマワリの根絶を目指し活動を行っていきます。

オオバナミズキンバイ・ナガエツルノゲイトウ駆除　12月6日

三五郎川水路（梶原）、一乗寺水路（井尻）でオオバナミズキンバイを、高槻幹線排水路（前島）でナガエツルノゲイトウの駆除を行いました。駆除には東部土地改良区、地元実行組合、JA五領支店、あくあぴあ芥川、芥川倶楽部、たかつき市民環境会議および高槻市の計17名が参加しました。この日駆除したオオバナミズキンバイとナガエツルノゲイトウの合計駆除量は１５０ｋｇでした。

アユの卵探し・仔魚（しぎょ）調査　11月～12月

「遡上したアユは、どこで子孫を残しているのか？」そんな疑問を解決するために調査を行いました。

11月8日にアユの卵探しを行いました。卵探しの場所は昨年の仔魚調査の結果をふまえて、これまでの城西橋上流に加えて芥川橋下流と次郎四郎橋の3か所としました。参加者９名が川底のアユが卵を産み付けそうな石を拾っては、裏側をじっくり見て直径1㎜ほどの卵を探しましたが、今年も卵は見つかりませんでした。

また昨年の仔魚調査で、芥川下流で多くの仔魚が確認できたので、今年は城西橋上流と次郎四郎橋の2か所で11月から12月にかけ調査を行いました。日没後に仔魚が流下することが分かっていることから、夜に調査を行います。プランクトンネットを川に設置して、３０分ごとにサンプルを回収してホルマリンで固定、仔魚の数は摂南大学の学生さんに研究室で数えてもらいました。現場では、ビーカーに懐中電灯の光を当て、透明でチリメンジャコのような仔魚を確認しました。

調査結果は、城西橋306個体、次郎四郎橋3,373個体と圧倒的に次郎四郎橋が多かったので、城西橋と次郎四郎橋の間のどこかで多くの仔魚が生まれていると言えそうです。

市長と語るタウンミーティングに参加　12月21日

濱田高槻市長と語るタウンミーティングが「アユの育つ川づくり・市民参加のまちづくり」をテーマに開かれました。当日は高槻市からは市長をはじめ担当部長と担当課から１５名、芥川倶楽部から9名が出席しました。

はじめに濱田市長か「芥川は市のシンボルです、芥川倶楽部の皆さんの提言をお聞きし市の施策に反映したい」との開会挨拶、そして田口代表からは「長年、行政とともに川づくりを進めているのは全国的にも珍しい、今後とも市と一緒になって川づくりとまちづくりを繋ぐ活動を続けていきたい」との挨拶がありました。

続いて、芥川倶楽部から主にアユと川づくりを中心にした活動と芥川トコロジストについて報告しました。また、ミズヒマワリ駆除のビデオ放映と、今後の駆除対象場所は芥川大橋より下流となり、ミズヒマワリの根絶をめざして国土交通省に駆除事業の

促進を働きかけをお願いしたいとの提言を行いました。市長からは、「アユの遡上時期と条件は？芥川のアユを食べたことがあるか？あまりアユが遡上することをPRすると獲る人が増えるのでは？」などの質問とともに「アユを遡上させ育てていくには大変な手間がかかることをよく理解できた」との感想がありました。また、ミズヒマワリ駆除については、「繁茂の状態や成長速度は？根っこが残っているとどうなるか？駆除の方法は？」などの質問があり、「国土交通省への要望についても連絡をとっていきたい」とのコメントがありました。

そのほか、「広報の強化（芥川の魅力を知ってほしい）」、「遊歩道ウォーキングの継続」、「クリーンアップの拡充」について芥川倶楽部から提言し、市長と意見交換を行うことができました。

大阪自然史フェスティバル2017　11月18･19日

大阪市立自然史博物館で開催されたフェスティバルに出展しました。出展内容はこれまでの魚釣りゲーム、活動紹介や広報活動のパネル・資料に加え、今年は『お父さんのための魚とり講座』と『定例活動』の動画放映、そして初めての販売活動として魚イラストのラベルシールを販売しました。

魚釣りゲームは、今年も子どもたちに大変人気があり、2日間で200名を超える参加がありました。動画も好評で、釣りゲームの前後に動画を見て「実際に魚とりをやってみたい」と言ってくれる子どもたちがたくさんいました。こうした啓発活動を通じて、川遊びに興味を持ってくれる子どもや保護者が増えることは大変うれしいことです。

たかつきエコフェスタ　1月26･27日

生涯学習センター１階イベントホールでたかつきエコフェスタが開かれ、市内で環境活動をしている12 団体と大阪府、滋賀県の関係先および民間の４社が参加しました。

芥川倶楽部のコーナーでは子ども達に大人気の魚釣りゲームをはじめ芥川の魚の生体展示、川づくりのパネルやあくあぴあ芥川の関連資料の展示を行いました。また、芥川の魚のイラスト画のラベルシールの展示販売も行いました。